

# 茨城県高等学校教育研究会地学部合同地区巡検報告

1. 日 時 平成 24 年 11 月 22 日(木) 9:00~17:00
2. 場 所 笠間市稲田→道祖神峠近くの林道→真壁町桃山→つくば市平沢→つくば市北条
3. 講 師 産業技術総合研究所地質調査所 高橋 裕平博士・西岡 芳晴博士

## 4. 内 容

### Stop 1 中野組石材工業株式会社見学

10:00~11:50

ここでは、今でも稲田の花崗岩を採掘し加工している。前山採掘場や様々な石材を使ったモニュメント等を見学。前山は深さ60mまで掘っており、出水した水はポンプで絶えず汲み上げている。汲み上げた水は、砂や泥を沈殿槽で沈殿させ加工工場にて使用するとのこと。花崗岩には、ホルンフェルスが含まれることがあり、その部分は使えないそうだ。

ここで、風化した花崗岩とフレッシュな花崗岩を頂いた。



### Stop 2 道祖神峠付近の林道

12:20~13:20

ここでは、石英を含むはんれい岩見学とその上部のキンセイ石を含む黒雲母ホルンフェルスを見学した。はんれい岩に石英が含まれるのは通常あり得ないので、一般的なはんれい岩とはでき方が違うのであろう。キンセイ石は風化しておりきれいには見ることができなかった。



### Stop 3 真壁町桃山

14:00～15:00

加波山花崗岩と筑波花崗岩という粒度が異なる花崗岩同士の貫入が見られる露頭である。花崗岩には多くの割れ目が見られ、それを花崗岩が埋めており、不思議な感じがする。写真はその様子である。石材としては不適切かと思う。



### Stop 4 つくば市平沢

15:30～16:00

泥岩が熱を受けて、黒雲母片麻岩になっている露頭。写真のハンマーの柄より上に黒雲母花崗岩がみえる。下が、黒雲母片麻岩である。ただ、あまり固結度はあまり高くない。この露頭の前には、いろいろなものが捨ててあったが、その中にペクマタイトがあった。



### Stop 5 つくば市小田

16:20～16:40

昔の採石場跡で、白雲母黒雲母花崗岩の大規模露頭が見られる。とてもきれいなのでサンプルを持ってきた。



## 5. まとめ

地学の資料が殆どない本校にとって、今回の巡検で得たサンプルは良い資料となる。また、日頃考えていた疑問にも専門家にご指導頂き、有意義な巡検となった。風化した花崗岩は、湿度を高くし、40℃に保った恒温器の中に放置して風化の様子を観察したい。